

「広島市立図書館再整備方針（素案）」に対する市民意見募集結果（応募数338件）

I 機能・サービス等について（221件、複数回答あり）

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理		
内容	主な意見の概要	本市の考え方
1 全体について		
再整備方針（素案）全体について	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な意見を簡潔に取りまとめ、再整備方針に盛り込んでいる点はよい。 ・図書館の持つべき機能については満遍なく記載してある。 ・素案の機能・サービスは、どれも必要なことで全てを実現させてほしい。 ・整備方針の内容は総花的で正直ピンとこない。図書館の将来像が見えにくい。何がこの先の図書館の「芯」なのかわからない。 ・一部の「こういう図書館がいいと思う」という意見を載せているだけで、図書館全体としての方針や、機能面はどこを発展させていくのか、その場合の優先順位はどれかということは見えない。 ・今回の方針を読んだが、はっきり言って市は何をしたいのかわからない。もう少し市民に分かりやすい図や表を使った説明資料を作ってほしい。 ・現在焦眉の問題である中央図書館、こども図書館、映像文化ライブラリーに焦点を絞らず、市立図書館全般にわたる素案を提示するのでは比較が困難で、コメントができない。 ・移転問題に関係ない、まんが図書館や区図書館の役割があっさりしすぎていて、「図書館再整備方針」というようなものになっていない。 ・専門家、研究者、障害者等の意見が反映されたとも思えない。 ・現在の取り組みを列挙するかアップデートを行う程度で、抜本的な改善に取り組む姿勢が見られない。 ・サービスの充実は有難いが、運営コストが上がり、将来的に財政問題等により今のサービスレベルでさえも賄えなくなるリスクがないか不安だ。 ・「21世紀広島市図書館計画の提言」を更に発展させて、市民が納得できる図書館にしてほしい。 ・広島を刻む中央公園において、中央図書館やこども図書館が果たしてきた実績をもっと評価し、未来に伝えるべき機能や役割を素案の中に盛り込んでほしい。 ・ハードとソフトに分けた案のつくりにしてほしい。 ・図書館の機能やサービスについては、図書館のある場所や周囲の環境とともに深く考えられるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市立中央図書館等の再整備については、令和4年3月に議決された令和4年度広島市一般会計予算に対する付帯決議において、予算を執行するに当たり、議会・利用者・有識者などから広く意見を聞いた上で、中央図書館等に求められる機能等を盛り込んだ図書館整備方針を作成することとされました。 ・このため、今回、「広島市立図書館再整備方針（素案）」を作成し、市民の皆様から、図書館に求められる機能やサービス等についての意見募集を行いました。 ・再整備の方針の最初に、図書館全体の基本的な方針として、利用者等のニーズに対応した図書館サービスを的確に提供するための取組事項を掲載するよう考えています。 ・重点を置く機能等については、ピックアップとしてイメージ写真とともに解説を掲載するなど、分かりやすく追記するように考えています。 ・区図書館やまんが図書館についても求められる役割や機能・サービスを追記するよう考えています。 ・再整備の場所については、同付帯決議において、図書館再整備方針の作成後に、現地建て替え、中央公園内等での移転、エールエールA館への移転について比較し、決定していくこととされています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
<p>コンセプト等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが学び、憩う『平和文化』の情報拠点」については賛成。 ・「『平和文化』の情報拠点」はそう思うので、その拠点としての中央図書館、広島の子どもたちが「平和文化都市」の子どもとして、大切にされ学び成長していけるこども図書館を整備してほしい。 ・広島ならではの「平和文化」をもっと前面に出して、「平和文化」を徹底的に追求した基本方針としてはどうか。 ・コンセプトの「自分にできることを日常生活の中で実践する」が非常に重要で、図書館利用の前後の市民生活においても、図書館の知に触れることを誘う仕組みが必要だ。 ・全国の方々に「国際平和都市広島」をアピールできる図書館、市民が誇りに思える図書館にしてほしい。 ・「平和文化」というと、その意味が伝わりにくく、市民は平和教育だけのイメージを持ってしまい、ぐっと力を入れて学習するイメージになってしまう。 ・図書館は市民の多様な文化を支援するためにあるので、なぜ興味を「平和文化」に限定されなければならないのかと思う。 ・図書館でどのように「平和文化の情報」を発信するか、見えてこない。 ・多様で上質な文化・スポーツの魅力に触れることのできる環境や地域コミュニティや市民活動の活性化への寄与と、子ども一人一人を大切に教育の実現のための各種機関との連携をコンセプトとしてほしい。 ・図書館はただ本を借りるところではなく、知の集積場所であり、文化の中心でなくてはならない。 ・世界中の優れた書籍を読んだり、文化に触れることができるようなローカルとグローバルをつなぐ存在としての図書館を目指してはどうか。 ・急ぎの用がなくともわざわざ行きたくなるような、素敵なお図書館を作ってほしい。 ・ついでに本も読みたくなったと思えるくらい「立ち寄りたくなる場所」を目指してほしい。 ・これからの図書館のあり方は「学び」と「楽しむ」ではないか。 ・図書館政策だけを考えるのではなく、全世代の居場所としての機能にスポットを当てたコンセプトに見直す必要がある。 ・図書館は都心づくり、にぎわい創出、経済効果の役割を担う施設ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月作成の「広島市立中央図書館等再整備計画（案）」に掲げている新しい中央図書館等のコンセプト「誰もが学び憩う「『平和文化』の情報拠点」」における「平和文化」とは、市民一人一人が幸せに暮らすために大切なものへの思いを共有し、自分でできることを日常生活の中で実践する文化のことです。 ・平和への思いの共有につながる広島歴史や文化、産業等を学ぶ社会教育や生涯学習の促進も「平和文化」振興の取組の一環であり、その中核施設である図書館が、誰もがより読書を楽しみ、広島の魅力や平和への思いを学ぶことができる情報拠点になることを目指して、再整備方針を策定していきたいと考えています。 ・なお、コンセプトについては、第2章に記載するように考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
1 中央図書館		
<p>P5 図書館としての基本的な機能（読書、学び、交流等の場の提供）を持ちつつ、各区にある図書館の中央館としての中枢機能を担うものであり、「平和文化」や「まちづくり」等に役立つ情報拠点として機能し、次世代を担う若者を含む多くの市民や広島広域都市圏内の住民などにもサービスの提供ができるようその充実を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを含め、全ての世代の人々が、読書の楽しさを再認識出来る様な、ワクワクする図書館を、創ってほしい。 他の市立図書館や学校との密接な連携が取ることができるところであり、広島歴史・文化・産業等を学べ、ヒロシマの心を共有し広島を知る場所としての中央図書館にしてほしい。 中央図書館の機能として「各区にある図書館の中央図書館としての中枢機能を担う」ことがあまり触れられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館が備えている読書や学びなどの基本的な機能等や広島に関する蓄積された様々な図書館資料により図書館としての機能・サービスの充実に取り組んでいきたいと考えています。 中央館としての具体的な機能等については追記するよう考えています。また、中央図書館と区図書館等との関係や連携がわかるよう図を入れることも考えています。
○ 誰もが快適に読書ができる場の提供		
<p>幅広い世代や目的で読書が楽しめる一般書、児童書、専門書等の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 政令都市にふさわしい、豊富な資料や情報を収集し保存してほしい。 資料の充実、専門書や広島文化に特化した図書館として他の図書館と差別化してほしい。 中央図書館はその他の区図書館とは異なり、行けば出版年が古いものも、あまり貸し出されないものや読まれていないものも手に入るという図書、資料保存の役割がある。 ライト層からヘビーユーザー層まで対応できる図書の充実 新刊本の購入数を増加してほしい。 少なくとも現在の倍の量を開架してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ幅広い世代のニーズや多様な目的等に対応できるような図書の充実等に取り組んでいきたいと考えています。
<p>仕事帰りのビジネスパーソンなども立ち寄ることができる環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自習したい人が仕事や学校が終わってから図書館を利用できればよい。 開館時間を、平日休日共に22時までにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 開館時間変更の検討等を含め、利用しやすい環境の整備に取り組んでいきたいと考えています。
<p>P5 乳幼児向けから中・高校生向けの図書の充実による子どもの発達段階に応じた年齢階層別のサービス（読書支援や調べ学習支援）の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大人の本も子ども本も同じフロアにあり、それぞれが読みたい本を手にとって同じ空間で読書が楽しめるものであってほしい。 親子連れ・家族連れでの利用は不便なので、同じ建物の中で、大人も子どもも利用できるようにしてほしい。 中央図書館に児童書コーナーは不要 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人まで多世代に向けたサービスが提供できるようにしたいと考えています。
<p>中・高校生向け（ヤングアダルト）の書籍等に特化したスペースの設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ヤングアダルトコーナーがあるなど、中・高校生も利用したくなる充実した図書館にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中・高校生向けスペースの設置に取り組んでいきたいと考えています。
<p>より快適に読書できるような多様な閲覧スペース（静かに読書できるスペース、おしゃべりしながら読書できるスペース、飲物を飲みながらリラックスして読書できるスペース等）の確保や開架書籍の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館でゆったり本が読みたい」と思える居心地の良い閲覧スペースがほしい。 書棚と書棚の幅を広くして、書棚の周りに椅子をおいてほしい。 知の中枢として中央図書館は是非とも静寂な施設であってほしい。 個人ブース（予約制で時間制限付き）のあるサイレントスペースがあればよい。 静かに本を読む場所だけでなく、声を出して本を読む楽しさや知る喜びを共感しあえる場所にしてほしい。 誰かと本を片手に会話や対話をしながら読めるスペースや床に座れる等のスペースが広くあるとよい。 BGMはまったく必要ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な閲覧スペースについては、それぞれの利用者がお互いにできるだけ快適に利用していただけるようレイアウトの工夫などを検討していきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
<p>段差等のない作りとすることや、車椅子の動線に配慮した書架の配置、大活字本・布絵本・点訳絵本・録音図書の充実、対面朗読室の設置など、バリアフリー対応の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアになっていること、入ってすぐに閲覧室があることなど、バリアフリーにしてほしい。 ・車椅子やベビーカーなどでも巡りやすくしてほしい。 ・図書館の一番の役割は図書の保管ではなく、利用する人全てに優しい、利用者ファーストだと思う。 ・バリアフリーから一歩進めて、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの思想で設計してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のレイアウト等を工夫し、できるだけ多様な人々が快適に利用できるようなバリアフリーへの対応を含めたユニバーサルデザインの採用を検討していきたいと考えています。 ・なお、ユニバーサルデザインの採用という形で記載するように考えています。
<p>外国人向けの多言語による情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生のために外国人などにも対応したサービスをしてほしい。 ・あらゆる国の言語のサインがあり、どの国の人が訪れても居心地がいいと感じられる場所にしてほしい。 ・外国人住民に配慮した蔵書の増加や、交流ができるイベント・支援サービスを紹介する窓口も無理のない範囲で機能してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けの情報の提供やサービスの充実を検討していきたいと考えています。
<p>移動図書館車（ともはと号）の巡回の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車の巡回場所を増やし、病院などの施設に配本するなど、サービスをより一層充実させてほしい。 ・入院中の子ども達への図書サービスができ、医療施設と連携してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も複数の院内学級への配本を行っています。引き続き、移動図書館車の巡回の充実に取り組んでいきたいと考えています。
<p>公民館や地域文庫等と連携した閲覧・貸出等の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館図書室への配本を増やしてほしい。 ・予約本の受取・返却を、公民館等の身近な公共施設でもできるようにすれば、利便性が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も公民館では貸出や返却ポストの設置、本のリクエストの受付を行っています。引き続き、公民館との連携の充実に取り組んでいきたいと考えています。
<p>わかりやすく、興味を喚起する開架図書配置の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小説は全部書架に置くなど、開架図書を増やしてほしい。 ・開放書棚は何部屋に分けて、テーマ分類した本を置くやり方がよい。 ・POPを描くなどして明るいイメージにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ利用しやすい開架図書の配置について、レイアウト等の工夫を検討していきたいと考えています。
<p>※その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約サービスはとても充実しているので、予約した本の返却や図書館へ配送済などの連絡があると助かる。 ・貸出冊数を増やしてほしい。 ・図書の貸出延滞者についてペナルティをつけてほしい。 ・本に付いている帯を捨てないでほしい。 ・本を売ったり捨てたりするのに抵抗がある方に寄贈ができることを知らせるポスターなどを貼ったらよい。 ・「ともはと号」の運行等以外の非来館サービスを考える必要がある。 ・予約した一般図書の受取・返却場所を増設し、商業施設や駅など利便性のよい場所に設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただきます。 ・現在でも、予約本が貸出可能になればメール等による連絡を行っています。また、非来館サービスとして有料図書宅配サービス等を実施しています。
<p>○ 広島市の歴史、文化、産業等を学べる場の提供</p>		
<p>P5 戦前の広島の歴史等を知るための資料や、広島出身の文学者で、我が国の児童文化運動の先駆者である鈴木三重吉などの広島ゆかりの作家の文学資料、被爆文献等を引き続き十分に保管・管理するとともに、活用を図るために、市民等の目に触れる機会を増やすための展示を行い、平和を願う「ヒロシマの心」を市民と共有するとともに、広域的に発信する「広島を知る」エリアの設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広島を知るエリアの資料などはとても貴重なものなので、保存環境を整備してほしい。 ・広島の文学者だけでなく、音楽や美術関係の先駆者、現在活躍している人の紹介もしてほしい。 ・戦後の歴史も対象としてほしい。 ・広島の歴史・文化・産業等を学べる場としてほしい。 ・郷土の執筆者を紹介する常設展示と、年一回程度の特別展示を行ってほしい。 ・テーマを持った魅力ある展示をしてほしい。 ・重要書籍の収集・閲覧が必要なのに、浅野文庫が除外されているのが問題 ・「戦前の広島の歴史等を～広域的に発信する「広島を知る」エリアの設置」までの1文が長すぎて、文意が伝わりにくい。 ・郷土資料や被爆関係資料は、図書館と切り離れた博物館施設を設けるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広島を知る」エリアにおける資料等の適切な保存・管理方法や展示内容、発信方法等について検討していきたいと考えています。 ・「浅野文庫」については、広島の文化・伝統等を後世に伝えることのできる貴重な古文書等を保存・整理するための重要なものであることを鑑み、保存環境の確保と活用について別途検討するよう考えています。 ・なお、文章については、分かりやすく記載するよう考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
<p>利用者がくつろぎながら学習し、様々な活用する環境を確保するための広島文学資料室の展示スペースや、同資料室及び広島資料室の閲覧スペースの拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「広島文学資料室」は、収集も大事で、資料を寄贈してもらうのみでなく、必要な時期に必要な資料を収集する機能も必要 ・エリアとかコーナーとかではなく、少なくとも一定の広さと貴重な文学資料などを保存する機能を備えた資料室でないと保全も管理も不可能 ・「くつろぐ」と「学習」はあまり相容れないものであるため、広島歴史等を学ぶというのなら「くつろぎながら学習」は図書館の方針として相応しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島文学資料の収集及び保存、活用については、引き続き充実に取り組んでいきたいと考えています。 ・なお、「くつろぎながら学習」という表現については、より適切に記載するよう考えています。
<p>デジタル技術等を活用した広島文学資料等の展示の導入検討</p>	<p>(ご意見なし)</p>	
<p>市内観光施設の歴史の紹介や魅力の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国外からの訪問者にとって、「広島」の文化や歴史を書物や情報を通して、感じたり、考えたりできるスペースがほしい。 ・観光客は遊びに来ているので、よほどの建物でなければ図書館には行かない。 ・市民のための図書館であるので、観光客へ向けた発信も大事だと思うが、バランスは考えてほしい。 ・図書館法の図書館奉仕の内容から逸脱するので、削除すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のみならず国内外からの来訪者等に広島情報を発信する「広島を知るエリア」の設置を考えています。 ・なお、ここでの観光施設とは、広島城、縮景園、マツダスタジアムなどの広島の文化、スポーツ、産業等に関わる幅広い施設のことです。これら施設に関する資料は郷土資料であり、その資料を活用して積極的に魅力を発信し、市民や来訪者等に広島をより詳しく知り理解してもらうことは、図書館奉仕の一環と考えています。
<p>P5 広島の地形や自然、歴史、文化、産業などに関する郷土資料等を、デジタル技術を活用して分かりやすく紹介する郷土資料館サテライトの「広島を知る」エリアへの併設</p>	<p>(ご意見なし)</p>	
<p>官民連携による歴史や文化等の情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆資料館や公的文書館、市民団体と連携をし、被爆者や平和活動団体等の資料の寄贈を受け、広く国内外に発信できるよう、協働する図書館であってほしい。 ・民間企業との連携はとても良いことなので、カフェスペースを設置するのであれば、そこに企業と連携して展示ブースなどを設けると多くの人の目に留まると思う。 ・官民連携による文化等の発信を図書館が担うのは違うのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の公共施設や民間事業者等との連携を図り、より効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。 ・図書等を通じて、官民連携で広島の歴史や文化等の情報を発信していくことは、市民や来訪者等に広島をより詳しく知り理解してもらうことができることから、図書館の取組の一環と考えています。
<p>広島スポーツ関連の書籍に親しんでもらい、スポーツを通じての広島歴史や文化の再認識をしてもらい、広島町のまちのことをもっと知ってもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広島スポーツ関連について知ってもらうのは、「広島を知る」エリアとは別のエリアなのか。 ・スポーツ関連の書籍から広島歴史等の再認識及び深くまちを知ることにフローがちゃんと練られているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関連も広島歴史・文化・産業等の情報の一つとして「広島を知るエリア」に含まれるものと考えています。
<p>民間事業者等との連携による広島スポーツや産業等の紹介イベントの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業との連携はとても良いことなので、カフェスペースを設置するのであれば、そこに企業と連携して展示ブースなどを設けると多くの人の目に留まると思う。(再掲) ・官民連携のスポーツ紹介イベントなどは図書館が担うことではない。 ・「民間事業者との連携」として、図書館内には民間事業者を入れるべきではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、中央図書館では「広島三大プロ(広響、サンフレッチェ、カープ)コーナー」を設置するとともに、同図書館やこども図書館においてサンフレッチェ広島や広島ドラゴンフライズと連携し、選手による絵本の読み聞かせ等を実施しており、広島スポーツや産業の振興と図書館の利用促進につながる取組であることから、引き続き、こうした民間事業者等との連携に取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容		主な意見の概要	本市の考え方
P5	※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・広島らしさを感じながら、老若男女様々な人が思い思いの時間を過ごす事が出来るようになることよい。 ・図書館は文化、音楽、芸術の発信拠点として広島らしさを打ち出してほしい。 ・移民博物館を併設してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただき、できるだけ幅広い広島の情報を多くの人に発信できるように取り組んでいきたいと考えています。
○ 人々が交流し、かつ、憩うことができる空間の提供			
	飲物を飲みながらリラックスして読書できるカフェコーナーの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・本を持ち込んでのカフェスペースも魅力的 ・飲み物を飲みながら本を読んだり、勉強ができるようにしてほしい。 ・カフェコーナーの設置は大変良いが、同規模若しくはそれ以上に静かな場の提供は必要 ・静かに憩う場として、現在同様の飲食物持ち込み可能で自由に利用できる休憩室を是非設置してほしい。その際、大人のみ利用者親子利用者は別々の場所を希望 ・カフェスペースの記述があるが、図書館内には不要ではないか。汚される本が増えることになる。 ・飲み物を飲みながら読書できるスペースは絶対に反対。みんなの本をみんなで大切に使う、ルールとして市民に教育するのも図書館の役目 ・より快適に読書できるような多様な閲覧スペースやカフェコーナーの設置などは、かえって本来の図書館利用者の邪魔になるのではないか。 ・読書のためのスペースと飲食できるスペースは分離されるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェコーナーなど憩いながら読書できるような機能を持たせることで、新しく図書館に関心を持ち利用してもらうことは大切と考えています。 ・カフェスペース設置においては、レイアウトの工夫や利用マナー向上の呼びかけなどにより、図書等が適切に利用されるよう取り組んでいきたいと考えています。
	様々な要因で孤独を感じている方等への「居場所」としての空間の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人までが、困った時や孤独を感じる時の「居場所」としての提供を望む。 ・孤独かどうかに関係なく、居場所にして構わないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「孤独を感じている方」は例示ですが、より様々な人の「居場所」としての記載に変更するように考えています。
P6	個人やグループで学習ができるスペースの充実と情報交換できる交流スペースの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室の拡張・環境整備をしてほしい。 ・電子黒板を導入し、大人も勉強や会議ができるスペースを充実してほしい。 ・場所の雰囲気、家よりも良く、図書や情報を求める仲間がいて、自習や調査環境が整ってほしい。 ・情報交換や交流できるスペースは、入口付近に設けて誰もが入りやすくしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や交流スペースの充実に取り組んでいきたいと考えています。
	学生ボランティアやボランティアグループ等の協力によるおすすめの本の紹介や絵本の読み聞かせ、読書会などの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や児童書、大人の本など、司書が実際に読んで良かった本をおすすめするコーナーがあった方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書はもとより、ボランティア等の協力によるおすすめ本の紹介などに引き続き取り組んでいきたいと考えています。
	館内のレイアウトを工夫した自然を感じられる空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然を感じられる空間づくり」とは、木の香りを感じられるような図書館を目指しているということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば観葉植物や木製の備品の設置など、できるだけ自然を感じられる空間づくりに取り組んでいきたいと考えています。
	内装を工夫した魅力的な空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングルームにいるような心地よいソファと空間、子どもも座れるようなスペースを設置してほしい。 ・デザイン化された本棚を設置してほしい。 ・個人の趣味に特化した本棚を並べたり、開放感のある、オープンスペース、喫茶店を併設するのも、楽しい図書館づくりになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が何度も利用したくなるような、魅力的な空間づくりに取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容		主な意見の概要	本市の考え方
P6	※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・何より広島市の住民にとって使いやすく、心地よい施設としてほしい。 ・市民が集える、市外からの方も利用できる憩いの場になってほしい。 ・ここに行けば楽しい時間が過ごせるというワクワク感がある場所、空間、雰囲気を希望する。 ・多様な文化の創造と交流に寄与できる市民に親しみやすく気軽に利用できる総合的な施設となっほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただきます。 ・多くの方々が交流し憩える空間の整備に取り組んでいきたいと考えています。
○ 平和への思いの共有や、まちづくりや地域課題解決に役立つ場の提供			
	戦前の広島歴史等を知るための資料や、広島出身の文学者で、我が国の児童文化運動の先駆者である鈴木三重吉などの広島ゆかりの作家の文学資料、被爆文献等を引き続き十分に保管・管理するとともに、活用を図るために、市民等の目に触れる機会を増やすための展示を行い、平和を願う「ヒロシマの心」を市民と共有するとともに、広域的に発信する「広島を知る」エリアの設置（再掲）	(4ページの記載内容と同じ)	(4ページの記載内容と同じ)
	利用者がくつろぎながら学習し、様々な活用する環境を確保するための広島文学資料室の展示スペースや、同資料室及び広島資料室の閲覧スペースの拡充（再掲）	(5ページの記載内容と同じ)	(5ページの記載内容と同じ)
P6	広島平和記念資料館や公文書館、市立大学等との被爆関連資料の収集情報の共有化や相互利用等による連携強化の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆資料館や公的文書館、市民団体と連携をし、被爆者や平和活動団体等の資料の寄贈を受け、広く国内外に発信できるように、協同する図書館であってほしい。（再掲） ・平和記念資料館や原爆ドームを訪れ、セットで訪れたいような世界に開かれた図書館であってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、公共施設間における被爆関連資料の収集や活用についての連携強化を検討していきたいと考えています。
	広島広域都市圏市町の行政資料等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広域都市圏の図書館間での予約・返却の利便性が向上してほしい。 ・現在も広域での利用カードが使用できるなど、政令指定都市としての矜持をしっかりと示すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、広島広域都市圏市町の行政資料等の充実を図り、圏域内の住民の利用についても、できるだけ充実したサービスを提供できるよう検討していきたいと考えています。
	市政情報や人口統計、防災マップ等の地域資料や行政資料などの充実及びそれに係るレファレンス機能の強化による地域課題の解決に役立つ学習拠点としての機能の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした資料を地域住民に提供、紹介してほしい。 ・市民が気軽に利用できる図書館を目指し、図書館を核にして地域振興を図るべき。 ・まちづくりや地域課題の解決も重要な図書館の役割なので、一つの項目にして方針を考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より分かりやすいよう「平和への思いの共有」と「まちづくりや地域課題」に分類して整理するよう考えています。
	ビジネスの情報支援として、起業や創業希望者を対象とした相談会やセミナーの開催、レファレンスの充実、経済関係ニュースや企業の検索などが可能な商用データベース等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの説明、利用の仕方などの充実を図ってほしい。 ・行政資料やビジネス資料等は、中央図書館にレファレンス機能を集約し強化してほしい。 ・レファレンス機能の強化、企業相談に加えて、クリエイティブ系の相談や制作のできる機能を併設してほしい。 ・インターネット上では得られない情報を本というツールを通して得られればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も取り組んでいる、ビジネス関係のレファレンスサービス等による支援の充実に取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
地域のボランティア等の人材の育成、地域の人材・機関と連携したサービスの充実	(ご意見なし)	
P6 様々なイベントや講演会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆の実相を学び、核廃絶を目指すための行動基盤を養う書籍や情報があり、世界中の実際に行動している人に出会える催しがあるといい。 ・世界各地の多様な文化や世界の歴史、社会課題を学べる書籍が所蔵され、関連したイベントや交流が行われたらいい。 ・出版記念や著者、映画監督などによる文化、歴史、社会問題、料理、旅行など幅広く様々なテーマの「トークショー」を行ってほしい。 ・広島の書店主や執筆者を交えての「本の見本市・紹介市」を開催し、読書グループや同人誌、歴史グループの紹介を行ってほしい。 ・ミニ・ロビーコンサートを行ってほしい。 ・展示会・発表会などできるフリースペースを整備し、市民も使用できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、より多くの方が本に関心を持ってもらえるよう、様々なイベントができる場所の確保や内容の充実に取り組んでいきたいと考えています。
※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代連携&イノベーション創出を可能にする「教育の場」としてほしい。 ・課題解決の対象を地域に限定しないでほしい。 ・市民の生活に密着した企画を発信し、市民の様々なニーズに応える場所であってほしい。なんでも調べられる、何でも相談できる場所にしてほしい。 ・新たに行政サービス機能を合わせ持たせてほしい。 ・市民が気軽に利用できる図書館を目指し、図書館を核にして地域振興を図るべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただき、地域課題など様々な課題の解決に役立つ図書館として機能等を充実していきたいと考えています。

○ サービスのデジタル化により利便性が向上した場の提供

現在中央図書館のホームページで公開している鈴木三重吉や峠三吉などの広島にゆかりの深い文学者の作品などのデジタルアーカイブの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重書・古書をデジタル化したものが閲覧できるようになればいい。 ・デジタル技術等を活用した広島文学資料等の展示の具体的なことが示されていない。 ・デジタルアーカイブの充実にしても、今さら目新しいことではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、デジタルによる情報のニーズが更に高まることから、引き続きデジタルアーカイブを充実するとともに、その周知を図っていきたくと考えています。
行政資料、地図資料、写真資料などの地域情報のデジタル化による地域資料のオープンデータ化	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土関係の出版物、大型図書など、禁帯出図書のデジタル化による閲覧が可能になると良い。 ・市公文書館のデジタルアーカイブ、検索システムは分かりやすいのでこれと連携すると良い。 ・図書館職員の負担を減らすためにも資料のデジタル化と電子図書サービスを率先して活用すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化については、庁内の関係部署等と協議しながら取り組んでいきたいと考えています。
P6 広島広域都市圏内の図書館とのオンラインでの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「広島広域都市圏内の図書館とのオンラインでの連携」とあるが、具体的にどのようなことを想定しているのかがわからない。 ・広島広域都市圏の中核的図書館として、また、広域都市圏市町の総合的な行政サービス窓口として、都市圏内のすべての住民が利活用しやすい機能を整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用しながら、広域都市圏内における図書館サービスの充実等に取り組んでいきたいと考えています。 ・なお、広島広域都市圏内の各市町の図書館等との連携は、オンラインでのイベントの共催等を考えており、そのことを追記するように考えています。
より利用しやすいホームページへのリニューアル	(ご意見なし)	
オンラインを活用したビジネス支援、健康情報など各種情報提供の充実	(ご意見なし)	
SNSを活用したおすすめの本や各種イベント開催等の情報発信の推進	(ご意見なし)	

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
書籍等の自動貸出機の増設や、諸室、座席の予約管理システム、セルフ式予約図書受取コーナーの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・予約図書をセルフサービスで受け取れるシステムを取り入れてほしい。 ・予約の本を館外や屋外等のロッカーに入れ、利用者には解錠のパスワードがメールで送られ、24時間いつでも持ち帰ることができるサービスを実施している図書館もあるので参考にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフ式予約図書受取コーナーの設置や自動貸出機の増設等に取り組んでいきたいと考えています。
移動図書館車（ともはと号）のリクエスト予約システムの整備	(ご意見なし)	
電子書籍の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化により順番を待たずに読むことが出来れば図書館の利用頻度は加速化していく。 ・「電子書籍の導入」は再整備のタイミングと同期する必要はないのではないか。 ・図書館職員の負担を減らすためにも資料のデジタル化と電子図書サービスを広島市が率先して活用すべき。 ・電子図書サービスは、県内の自治体から分担金を負担させるなど、県と市町が一緒になって行うなどの構想があってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の導入については、電子書籍の動向や他都市の導入状況等を踏まえながら検討していきたいと考えています。
P6 Wi-Fi環境の整備やタブレット端末の貸出など、ICTを活用した調査・研究の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークスペースには全席にコンセント、Wi-Fiを完備してほしい。 ・電子書籍、動画、アニメを見れるパソコンの充実が必要 ・Wi-Fiは、別利用目的での長時間滞在が増えるだけなので不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境の整備やタブレット端末の貸出などに取り組むよう考えており、利用時間などの利用方法等については、今後検討していきたいと考えています。
オンラインでの対面朗読や、講座の実施が可能な設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・著者を招いた講演会や生活に役立つ講座を、オンラインも含めて開催してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの活用ができる設備の充実に取り組んでいきたいと考えています。
※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル機能をフルに発揮し、これからの図書館像を創り上げてほしい。 ・新聞記事がデジタル閲覧できれば良い。 ・様々な資料を保管すると同時に、SNSを使ってそれを世界中どこからでも検索できるようにしてほしい。 ・仮想空間に「ひろしま平和文化都市」を構築し、仮想空間での学びや研究などができる環境を整備する。 ・来館する度に、スマホアプリ等でポイントが貯まり、そのポイントを作って広島市内でサービスが受けられれば良い。 ・タッチパネル式図書館のフロアマップが欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただきます。 ・より利用者の利便性が向上するよう、デジタル化の推進に取り組んでいきたいと考えています。

○ 学校や他の図書館との密接な連携の確保

生涯学習の拠点として、放送大学や夜間大学等と連携した社会人の「学び直し」の支援	(ご意見なし)	
P7 大学図書館を含む全国の図書館との相互貸借やレファレンスサービス等の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の図書館などと連携することも必要 ・市公文書館、県立図書館・県立文書館との連携を充実させてほしい。 ・県立図書館としっかり役割分担して、同館が専門書を置くなら、市立中央図書館はよりポピュラーで利用の多い資料を置いて、気軽に利用させてほしい。 ・県立図書館との書庫機能の連携を強化すれば、資料保存の役割を県立図書館が更に担えるのではないかと。 ・相互貸借は効率化してほしい。 ・相互貸借は無料となっているが送料実費徴収でよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学図書館や県立図書館等との相互利用などの連携については、引き続き協議をしながら強化に取り組んでいきたいと考えています。
民間企業や大学、美術館等と連携し、広島ならではの文化・経済・歴史などと図書にまつわる企画展示の積極的な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・在野の研究者、勉強会、地方出版社を連携先として明示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体等との連携も追記するように考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
○ 市民ボランティア等との連携等の確保		
ア 市民ボランティアとの協働		
P7 学生ボランティアやボランティアグループ等の協力によるおススメの本の紹介や絵本の読み聞かせ、読書会などの開催（再掲）	(ご意見なし)	
P7 地域のボランティア等の人材の育成、地域の人材・機関と連携したサービスの充実（再掲）	(ご意見なし)	
P7 図書館ボランティアへの支援（養成講座、研修会、活動機会の充実等）	(ご意見なし)	
P7 ※その他	・平和に関連するボランティア司書、ボランティアアーキビストなどの育成をすすめてほしい。 (※アーキビストとは、欧米などで使われる名称で、貴重な行政資料等の収集・管理などを専門的に担当する職員のこと)	・引き続き、図書館業務に携わるボランティアを育成するとともに、協働していきたいと考えています。
イ 民間事業者や他機関との連携		
P7 官民連携による歴史や文化等の情報発信（再掲）	(5ページの記載内容と同じ)	(5ページの記載内容と同じ)
P7 民間事業者等との連携による広島のスポーツや産業等の紹介イベントの開催（再掲）	(5ページの記載内容と同じ)	(5ページの記載内容と同じ)
P7 書店との連携	・「書店との連携」とは何の事か説明が足りない。	・書店との連携は、広島ゆかりの作家の作品の紹介などを考えており、そのことを追記するように考えています。
P7 民間企業や大学、美術館等と連携し、広島ならではの文化・経済・歴史などと図書にまつわる企画展示の積極的な実施（再掲）	(9ページの記載内容と同じ)	(9ページの記載内容と同じ)
○ 適切な運営体制の確保		
P7 多様で高度なレファレンスに適切に対応できる専門職員の育成・配置	・調べものなどをする時、窓口に行けばしっかりとアドバイスをしてくれる司書がいてほしい。 ・現在のレファレンス力が失われないよう、機能と人材の保全がなされる再整備であってほしい。 ・計画的な司書採用と育成も欠かせない。	・図書館職員の研修の充実等により、専門職員の育成等に取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
職員の質の向上のための研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・司書率の高さが全国でも有数の本市図書館の人材育成の観点が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・同上
書籍等の自動貸出機の増設や、諸室・座席の予約管理システム、セルフ式予約図書受取コーナーの設置（再掲）	(9ページの記載内容と同じ)	(9ページの記載内容と同じ)
P7 資料の選定、データ入力などを効率よく行うための作業スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が満足に動ける作業スペースを現在の5倍～10倍を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きやすい環境を整備することは重要と考えており、作業スペースの広さ等については、具体的なレイアウトの設計等の中で検討していきたいと考えています。
※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員やボランティア、学校図書館職員等の「人」へ最大限の予算配分をしてもらいたい。 ・司書を会計年度任用職員や任期制の臨時職員ではなく、正規雇用してほしい。 ・指定管理者制度を導入するか否か明確に述べるべきだが、平和都市広島の公共図書館には指定管理者制度を導入すべきではない。 ・他の自治体で行われている民間事業者へ委託した図書館のようなものにはしないで、市が責任を持つ図書館であり続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運営体制の確保について検討していきたいと考えています。

○ 効果的・効率的な図書館ネットワークの形成

本市図書館における資料収集やレファレンスサービスの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館での一般図書は各区図書館に分散させ、インターネットによる検索・予約、受取・返却のサービスを担うことで、利用者の利便性に配慮する。 ・予約が殺到するような本は少なくとも各館1冊以上は入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、図書館ネットワークでのサービスの充実について検討していきたいと考えています。
移動図書館車（ともはと号）の駐車スペース等や、移動図書館車用及び公民館への配本用図書の書庫や機材等の荷捌き場等についての適切なスペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館用の駐車スペースと荷捌き場を移動図書館専用の書庫の付近に設置 ・図書館本体に近接し、専有できる大きな荷捌き場と駐車場が不可欠で、渋滞に巻き込まれることなく、すぐに発車できることも重要 ・各区図書館と資料を相互に利用し提供するための円滑な流通運搬システムと、集積と分配の作業スペースが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車の駐車スペース等の配置については、具体的なレイアウトの設計等の中で検討していきたいと考えています。
P7 豊富な蔵書を十分に収蔵できるスペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な蔵書の充実と保存、そのための十分な開架と書庫スペースの確保が必要。 ・現在の蔵書レベルを維持してほしい。 ・蔵書を充実してほしいので、今の倍のスペースが必要 ・今後50年分の資料を保存できる大きさの書庫が必要 ・次の建て替えとなる30～50年先までの収容能力として、概ね100万冊を収蔵できる、災害にも強い保存書庫機能が必要 ・今後の蔵書目標数をはっきり書いてほしい。 ・本の劣化やカビを防ぐために、空調とか水濡れ対策をしっかりしてほしい。 ・書庫も一部を開放型にして自分で本を探せたらよい。 ・書庫の本がもっと早く出てくるようになってほしい。 ・本を効率的に検索管理し瞬時に手に取れるように全自動化書庫システムを導入してほしい。 ・全自動化書庫はやめたほうが良い、毎年の保守費用の負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書については、将来的な図書の出版点数や電子書籍の普及の動向などを考慮しながら、現在よりできるだけ多くの図書資料を収蔵できるようなスペースを確保したいと考えており、収蔵冊数については、具体的な整備に取り組んでいく中で検討していきたいと考えています。
※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の図書館以外にも、公民館図書館や保育園から高校までの各施設・図書に関係する職員とのネットワーク化を検討し、市民がいつでも自由に本を手にとることができるシステムを確立することが欠かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公民館や学校等との連携の充実に取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
<p>2 こども図書館（主にこども図書館の固有の機能についての意見を記載し、中央図書館と重複する機能等は省略）</p>		
<p>P8 本市のこども図書館は、前身の「広島市児童図書館」が担っていた役割を引き継ぎながら、現在地において、子どものための専門図書館として機能してきていることを踏まえつつ、中央図書館とは切り離して、その機能・サービス等の充実を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館は全国的にも珍しいことを踏まえ、子どもが育てやすい都市の象徴として、これからの図書館のモデルとなるようであってほしい。 ・米国カリフォルニア県人会の寄付により設立されたこども図書館は、ヒロシマの平和の象徴。 ・中央図書館とこども図書館は、分けて検討を行なってほしい。こども図書館は、対象をこどもに特化して、機能やサービス等を検討してほしい。 ・子どもも利用する施設なので独立した建物が好ましい。 ・「中央図書館とは切り離して」に反対。是非、中央図書館と一体化して再整備してほしい。 ・「中央図書館とは切り離して」という言葉が、中央図書館と集約しないで、現在地に残すということなのか、中央図書館と同じ場所に移転させても、今まで通り、別々の機能を持たせるということなのか、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども図書館については、現在地において、子どものための専門館及び中央館として機能していることを踏まえつつ、中央図書館とは切り離して、こども文化科学館のリニューアルに合わせて、その機能やサービス等の整備、充実を図るよう考えています。
<p>○ 誰もが快適に読書や読み聞かせができる場の提供</p>		
<p>乳幼児向けから中学生向けの図書の充実による子どもの発達段階に応じた年齢階層別のサービス（読書支援や調べ学習支援）の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立的な黙読ができるかどうかの岐路にある小・中学校以上の子どもたちに対するサービスや企画により、他の図書館への橋渡しとなってほしい。例えば、総ルビ付きの本を難易度別にならべて展示する、漫画とそのノベライズや英語翻訳漫画を並べて紹介する、日本語多読や英語多読の本を積極的に蔵書にする、などをしてはどうか。 ・子ども（乳幼児～中学生）向け書籍類は、専門図書館であるこども図書館に集約し、閲覧環境の強化充実を図る。 ・こども図書館にしかない貴重な資料を残せる図書館であってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見などを参考に、引き続き、子ども向けの図書の充実等によるサービスの提供に取り組んでいきたいと考えています。
<p>子どもの取りやすい高さに配慮した書架の設置</p>	<p>（ご意見なし）</p>	
<p>P8 段差等のない作りとすることや、車椅子の動線に配慮した書架の配置、大活字本・布絵本・点訳絵本・録音図書の充実、対面朗読室の設置など、バリアフリー対応の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子やベビーカーなどでも、巡りやすくしてほしい。 ・バリアフリーはもちろん、子どもや親子連れが利用しやすいよう授乳室やプレイルームを設けてほしい。 ・バリアフリーから一歩進めて、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの思想で設計してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容については、こども文化科学館のリニューアルに合わせて検討していきたいと考えています。
<p>親子や子ども同士でおしゃべりしながら読書ができるスペースの確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけでも、親子連れでも、行って楽しく過ごせる図書館にしてほしい。 ・緑の見える窓辺で静かに読むスペース、それ以外は声を出してもいいスペースを設けてほしい。 ・書架のそばに親子が座れるスペースがあることで親子だけの空間が作れる、本を借りた後に広場で青空読書ができる、書架の間をベビーカーが通れるようにしてほしい。 ・区図書館とは異なる、市の全ての子ども達を対象にした、子どもが安全に、親が安心し、親子がワクワクするような、単なるスペースではなく、市を代表する子どものための空間をつくってほしい。 ・同世代の子どもがたくさんいる場所、一人でくつろげる場所、児童書がたくさんあってワクワクする場所など選択できるようにしてほしいが、重要なのは安全である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同上
<p>親の膝上での読み聞かせや、寝転んでの読書などができる、靴を脱いで過ごせるスペースの設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広いスペースの確保が重要で、絵本を声に出して読んでいい場所や靴を脱いでよいスペースは大変良いアイデアと思う。 ・子どもが気軽に座り、本を広げて読みやすいスペースを設けてほしい。 ・子どもたちが何時間でもリラックスして本と向き合えるスペースで、退屈したら戸外で遊び、食事をし、また図書館に戻ることができるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同上

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容		主な意見の概要	本市の考え方
P8	読み聞かせルームの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせでは専用の小部屋を用意するなど、絵本の世界に集中できるという環境を子どもたちに提供してほしい。 ・小学校の低・中学年向けにブックトークや本の紹介などを頻繁にできる施設もあると良い。 ・ミニコンサート、工作やワークショップのコーナー、絵本の読み聞かせやお話を楽しむおはなし会の部屋などがあれば良い。 	・同上
	※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語の絵本の蔵書を、広島に住む親世代の外国人市民の言語ニーズに応じて増やしてはどうか。 ・子ども連れだと荷物が多くなりがちなので、無料ロッカーの設置又は荷物を預けられると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただきます。 ・なお、外国語の絵本については、現在も収集しており、今後の充実についても追記するように考えています。
○ 広島歴史、文化等を学べる場の提供			
P8	平和・原爆関連や広島ゆかりの児童書等の収集・活用の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ本を読む・借りるという観点だけでなく、未来を担う子どもたちには平和というテーマも肌で感じてほしい。 ・「平和のための行動を選び取れるような大人になることを目指す教育」を支えていく図書館を目指してほしい。 ・「平和文化」継承のための「平和教育」を考えた時、専門施設である「こども図書館」の機能強化を図る必要がある。 ・平和学習もこども図書館の大事な機能だと思う。 ・平和文化都市広島にある、世界にここだけにしかない平和を発信する「こども図書館」だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、平和関連等の児童書等の収集・活用の強化に取り組んでいきたいと考えています。
	※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「ベル・コレクション」をどのように保存するのかを明記してほしい。 (※ベル・コレクションとは、昭和24年にアメリカのハワード・ベル博士を通じて寄贈され、広島市児童図書館開館の契機となった洋書の児童文学や絵本の資料群) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベル・コレクションについての項目を追記するように考えています。
○ 人々が交流し、かつ、憩うことができる空間の提供			
P8	親子や子ども同士でおしゃべりしながら読書ができるスペースの確保（再掲）	(ご意見なし)	
	授乳室やベビーカー置場等を確保したエリアの設置	(ご意見なし)	
	親の膝上での読み聞かせや、寝転んでの読書などができる、靴を脱いで過ごせるスペースの設置（再掲）	(ご意見なし)	
	子どもが本や図書館に親しめるような講演会、館内見学等のイベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会や見学は楽しいので今後も続けてほしい。 ・幼児、小学生にとって魅力的なイベントを開催してほしい。 ・子どもだけでも、親子連れでも、行って楽しく過ごせる図書館。（ミニコンサート、工作やワークショップのコーナーがある。絵本の読み聞かせやお話を楽しむおはなし会の部屋がある。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベント等の充実を図っていきたいと考えています。
	学生ボランティアやボランティアグループ等の協力によるおすすめの本の紹介や絵本の読み聞かせ、読書会などの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児への読み聞かせは 月1回だけではなく、何度かした方がよい。また、全てボランティア任せでなく、司書を増やした方がよい。 ・絵本や児童書や大人の本など司書が実際に読んでよかった本をおすすめするコーナーがあったら良い。 ・おはなし会ボランティアの研修室があれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児への読み聞かせは、現在、職員も従事しながら複数回実施しているところであり、今後はボランティア等の協力による充実に取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容		主な意見の概要	本市の考え方
P8	内装を工夫した魅力的な空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが本に親しめるように、季節ごと、テーマごと、年齢ごとなどの選書とイラスト付きのポップなど工夫して、自由に来て本に親しめる空間にしてほしい。 部屋全体が森のような内装にするなど、子ども図書館ならではの雰囲気作りがあるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な内容については、こども文化科学館のリニューアルに合わせて検討していきたいと考えています。
	※その他	<ul style="list-style-type: none"> 雨の日に子どもを連れて遊びにいけるような場所になってほしい。 市の全ての子ども達を対象にした、こどもが安全に、親が安心し、親子がワクワクするような、単なるスペースではなく、市を代表するこどものための空間をつくってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや親子で楽しめるような場になるように取り組んでいきたいと考えています。
○ 子どもの成長や将来のまちづくり、平和への思いの共有等に役立つ場の提供			
P8	子どもに本に親しんでもらうためのレファレンスサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの本について専門的知識を持った司書が居る、子どもの文化を支える図書館になってほしい。 「子どもに本を親しんでもらうためのレファレンスサービス」とは具体的に何を意味しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた本の紹介や調べ学習などの相談に適切に対応できるようなレファレンスサービスの充実に取り組んでいきたいと考えています。
	課題を抱える子どもたちの「サードプレイス」として、子どもの居場所としての図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい発見や生きる喜びに出会える「子どもの居場所」にしてほしい。 行き場のない子どもも自由に入れる場所があれば救われる。 サードプレイスはこども図書館だけではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所にふさわしい図書館づくりに取り組んでいきたいと考えています。
	地域のボランティア等の人材の育成、地域の人材・機関と連携したサービスの充実	(ご意見なし)	
	平和・原爆関連や広島ゆかりの児童書等の収集・活用の強化（再掲）	(ご意見なし)	
	※その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書により脳を鍛え、これからの時代の難局を乗り切っていける、未来を託せるような子どもたちを育てる拠点になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもたちの読書活動の充実にも取り組んでいきたいと考えています。
○ サービスのデジタル化により利便性が向上した場の提供			
P8	SNSを活用したおすすめの本や各種イベント開催等の情報発信の推進	(ご意見なし)	
	書籍等の自動貸出機の増設	(ご意見なし)	
P9	Wi-Fi環境の整備やタブレット端末の貸出など、ICTを活用した調べ学習の強化等	(ご意見なし)	
	オンラインでの講座の実施が可能な設備の充実	(ご意見なし)	
	※その他	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けに、読んだ本をATMのように印字できるような通帳が無料でできたら子どもの利用が増えると思う。 データベースなどにアクセスし、一人一人の学びをサポートできる場所であってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見は参考とさせていただきます。 なお、現在でも手書きの「読書貯金通帳」を配布しています。
○ 学校や他の図書館との密接な連携の確保			
P9	学校等と連携した子どもの読書活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会とも連携して、読書による学力向上を模索してほしい。 中学校区ごとに図書館司書が配置されているが、まだまだ十分とは言えず、専門司書を派遣する、研修を行うなどのサポートが必要 こども図書館で小中学校や教育委員会も巻き込んだ調べ学習を行い、互いに発表し合うことができる研修スペースが必要 将来的には、こども図書館を基点に小学校・中学校とネットワーク化し、本の定期的な配本が行われるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会等とも連携を図りながら、学校等での子どもの読書活動の支援の充実に取り組んでいきたいと考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容		主な意見の概要	本市の考え方
P9	※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・こども図書館と文化施設を巡る「バス」を走らせてほしい。 ・子どもの教育に関してプライバシーが守られる空間がほしい。 ・子育て支援センターと連携し、図書館への価値観を変えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただきます。
○ 市民ボランティア等との連携等の確保			
P9	学生ボランティアやボランティアグループ等の協力によるおすすめの本の紹介や絵本の読み聞かせ、読書会などの開催（再掲）	(ご意見なし)	
	地域のボランティア等の人材の育成、地域の人材・機関と連携したサービスの充実（再掲）	(ご意見なし)	
	図書館ボランティアへの支援（養成講座、研修会、活動機会の充実等）	(ご意見なし)	
	※その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がボランティアで参加して市と一緒に運営していきたいような施設にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も、本の修理や行事受付の補助、絵本の読み聞かせなどにおいて、ボランティアにご協力いただいております。今後も連携を図っていきたく考えています。
○ こども図書館の歴史的経緯を踏まえた適切な運営体制の確保			
P9	子どものための図書館としての独自性の継承と、児童サービスの中核機能の継続と発展のための体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの本や、子どもと本を結び付ける方法についての専門的知識を持った職員は必須。職員の確保と育成についても触れてもらいたい。 ・こども図書館の歴史的設置経緯から見ても、未来を担う子どもたちに、良い環境を与えるのは大人の責務だと思う。 ・独自性とは子どものための蔵書が多いといった蔵書的な面なのか、本棚や机の高さといった設備的な面なのか、何を想定しているのか把握できない。想定している独自性や中核機能について、もう少し詳しく説明すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本再整備方針における「独自性」とは、こども図書館の設置の経緯や子どものための専門図書館としての機能等のことであり、引き続き、その機能等の継承に取り組んでいきたいと考えています。 ・専門図書館としての職員の育成・配置について追記するよう考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
<p>3 まんが図書館（まんが図書館についての意見を記載し、中央図書館と重複する機能等は省略）</p>		
<p>P9 漫画の専門図書館として、漫画文化の魅力を広く発信する役割を担うために、漫画図書等の収集・保存・提供やイベントの開催等の機能・サービス等の充実を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な保存すべき漫画は新中央図書館で保存し、利用できるようにしてほしい。 ・使い捨てのコンテンツを集めるのではなく、鋭い視点で蔵書を吟味し、広島に特化した資料の収集や展示などを行い、唯一無二のまんが図書館を目指してほしい。 ・まんが図書館も含め、貴重書・古書をデジタル化したものが閲覧できるようになればいい。 ・大人も優れた漫画作品を借りて日本の漫画の深化を味わっており、広島が誇っている施設なので大切にしてほしい。 ・広域で集客できる可能性があるとするれば、まんが図書館移転拡充ぐらいではないか。 ・まんが図書館は広島市立図書館の大きな特徴であるが、再整備方針に何も記載されていない。 ・まんが図書館を、中央図書館とこども図書館の話と混ぜてしまうのは、雑な扱いを受けているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まんが図書館についても主な機能等について追記するように考えています。
<p>4 区図書館（区図書館についての意見を記載し、中央図書館と重複する機能等は省略）</p>		
<p>P9 各区における市民の身近な図書館として、地域サービスの拠点としての役割を担うために、子どもから高齢者まで幅広い世代に対して、日常生活の中で必要とする資料や情報の提供等の機能・サービス等の充実を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館と連携し、それぞれの区のニーズにあった、より身近な図書館を目指すことが求められる機能 ・中央図書館に求められる機能と区図書館に求められる機能とがきちんと理解・整理されていない。 ・区の図書館は中央図書館と連携しているので分けて考えるべきではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区図書館と中央図書館との連携や利用者等のニーズを踏まえた資料の提供などの主な機能等について追記するように考えています。
<p>○ 誰もが快適に読書ができる場の提供</p>		
<p>P9 子どもコーナーの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各区図書館の子どもコーナーは、より身近な場所での子どもの成長支援の場を提供する。 ・どの区の図書館でも乳幼児スペースはジョイントマットがあれば、すぐにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区図書館では、スペースを工夫しながら「子どもコーナー」を設置しており、引き続き、同コーナーの充実に取り組んでいきたいと考えています。
<p>○ 人々が交流し、かつ憩うことができる空間の提供</p>		
<p>P9 カフェスペースの設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で憩える、または赤ちゃんから年配の方々まで年齢問わず憩える空間の提供、カフェの設置などは区の図書館で実現できること ・佐伯区図書館のある区民文化センターには既に喫茶店が存在するが、私の知る限り利用者は多くなく、図書館でのカフェスペースの需要は疑問が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェスペース設置については、今後、区民文化センター等とも調整を図りながら検討していきたいと考えています。
<p>※ その他</p>		
<p>※その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な各区図書館での一般図書の閲覧環境の充実が必要。 ・地域の資料が充実した、子どもから高齢者まで利用できるようなスペースがほしい。 ・予約が殺到するような本は少なくとも各館一冊以上は入れてほしい。 ・それぞれの区図書館の特色や配架の見直しを進めたら利用率や回転率も上がって、書架に余裕がでるのではないか。 ・市民ボランティアとの協働の視点は、区図書館にあってもいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧環境の充実や市民ボランティアとの協働など、ご意見を踏まえて、主な機能等を追記するように考えています。

「広島市立図書館再整備方針（素案）」の「第3章図書館の再整備の方針」に対応させた整理

内容	主な意見の概要	本市の考え方
5 その他		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・映像文化ライブラリー、青少年センター、こども文化科学館も一緒に検討してほしい。 ・学校図書館について、中学校区ごとに学校図書館司書が配置され、以前よりは生徒が足を運びやすい図書室に変化しているが、まだまだ十分とは言えず、教育委員会とも連携して、読書による学力向上を模索してほしい。 ・公民館図書室について、古い本も多く利用も十分ではないので、この機会に利用者を巻き込んで思い切ったリニューアルを行い、「生きた図書館」に変えていくことに取り組んではどうか。 ・図書館だけでなく、子育て支援や就労支援、生涯学習の部署も設置して、子ども・若者・高齢者にも役立つ、平和や国際的な情報センターとしての機能もあればいい。 ・図書館機能を軸に、食・健康・教育などの発見、体験の場（参加型の農場スペース、キッチンスペースを設ける、研修・貸会議室の設置）を併設してほしい。 ・反映された市民の意見が本当に多いのかが分からないので、各意見についての多数意見、少数意見、年代などの統計を公開すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考とさせていただきます。 ・今回の議会の付帯決議に基づく再整備方針は図書館を対象としたものであることから、図書館法に基づく図書館を対象としています。 ・学校図書館や公民館図書室については、中央図書館の「学校や他の図書館との密接な連携の確保」や「効果的・効率的な図書館ネットワークの形成」等により、連携の充実等に取り組んでいきたいと考えています。 ・なお、今回いただいたご意見については、年齢など詳細なレベルまで分類し把握することは困難なため、主だったご意見を取りまとめるようにしています。

II その他（310件、複数回答あり）

1 再整備場所について（234件、複数回答あり）			
内容	主な意見の概要	本市の考え方	
○ 現在地・中央公園内を希望（158件）等			
希望理由	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境関係 <ul style="list-style-type: none"> ・公園があり、自然があり、歩道も広く整備されている今の場所で再整備すべき。 ・本を読んでいて、ふと窓から外を見ると、鮮やかな樹木の緑が目優しい、そんな環境が大好きだ。 ・都心部に位置し、緑に囲まれた公園の中で美術館に隣接し、ゆったりと読書ができる今の中央図書館の価値を評価すべき。 ・広島を誇る文化ゾーンであり又平和ゾーン。四季折々の自然を感じさせてくれる。公園で思いっきり安心して遊ぶことが出来る“こどもの天国”である。 ・豊かな四季を無意識下で子どもの五感に染み込ませることのできるかけがえのない場所。立地が子どもの情操教育に与える影響は計り知れない。 ・平和関係 <ul style="list-style-type: none"> ・平和公園と徒歩圏内にあり、原爆・平和に関する相互の資料や被爆体験を立体的に学ぶことができる最適地である。 ・平和の軸線上に位置し、平和教育実践の一翼を担うのにふさわしい環境である。 ・米国カリフォルニア県人会の寄付により設立されたこども図書館は、ヒロシマの平和の象徴として、現在の場所にあることに意義がある。 ・安全、安心関係 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの移動手段は自転車であり、安全に行き来ができる。 ・車の侵入もなく、安心して子どもが過ごせる場所である。 ・近隣施設関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま美術館、県立体育館、こども科学館とこども図書館、ハノーバー庭園があり、大人にとっても子どもにとっても素晴らしい環境である。 ・ひろしま美術館、原爆ドーム、広島城も徒歩圏内である。 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・現在地はバスセンターの近隣なので、市内のあらゆる所からバス1本で行ける。 ・市内周辺には各図書館があるが、中心部にはない。 ・人々が交流し、かつ、憩うことができる空間は現在の場所においてかなうところはない。 ・児童図書館の歴史を伝えることから図書館を現在地からなくさないでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備の場所については、議会の付帯決議において、図書再整備方針の作成後に、現地建て替え、中央公園内等での移転、エールエールA館への移転について比較し、決定していくこととされています。 ・なお、こども図書館については、現在地において、子どものための専門館及び中央館として機能していることを踏まえつつ、中央図書館とは切り離して、こども文化科学館のリニューアルに合わせて、その機能やサービス等の整備、充実を図るよう考えています。 ・今回いただいた再整備の場所についてのご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。 	
※反対意見	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地は最寄りのバスセンターからも徒歩で5分以上かかり、特に猛暑の中歩くのは、しんどく、特に高齢者、障がい者の方にとっては利用しづらい。 ・今の場所は確かに自然は多いが、子ども連れにはアクセスが悪い。 ・基町公園の中には図書館以外が必要で、広島らしさの文化の発信拠点を提供する公共施設を計画することが望ましい。 		
○ エールエールA館・広島駅前を希望（33件）等			
希望理由	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス関係 <ul style="list-style-type: none"> ・広島市内及び広域都市圏の中心地となる交通結節点である広島駅に位置してほしい。 ・JR各路線・バス・電車で県内どこからでも、駅下車2分位で図書館を利用できるのは、老若男女問わず大変喜んでもらえる。今まで利用した事が無い方も気安く立ち寄れる。 ・広島駅からのアクセスも良く、雨が降っても、傘をささずに行けるといいうのは、大きなメリット ・近隣施設関係 <ul style="list-style-type: none"> ・食事、ショッピングと諸々の楽しみ方が出来る。家族で集える様になる。 		同上
※反対意見	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応が不安で、子どもたちが安心して行くこともできないし、貴重な文化財が焼失するおそれがある。 ・紙屋町八丁堀境界で用が事足りる人間にとっては、遠くへ行って不便 ・駐車場は非常に入庫しにくく料金も高いし、周辺は交通量が多く、子どもたちだけで通うことが難しい。 ・建物も古く、いずれ建て替え時に膨大な費用が掛かる。 ・造りや天井の高さが図書館向きではない。 ・駅は刺激が多く、自然物が近くにないので、のびのびと安心して過ごすことができない。 ・広島駅から1kmのところに東区図書館もある。 		

1 再整備場所について（234件、複数回答あり）		
内容	主な意見の概要	本市の考え方
○ その他（73件）		
・その他の希望場所（特定場所）	・広島そごう新館跡、広島商工会議所ビル跡、広島大学本部跡地、広島県宮基町住宅跡地、広島陸軍被服支廠跡、紙屋町シャレオ空き店舗、広島駅新駅ビル内など	同上
・その他の希望場所（非特定場所）等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやお年寄り、障害者などが無理なく安心して行けるようにしてほしい。 ・交通便利で家族で集え、楽しめる場所にあるべき。 ・図書館の周りを庭、木々で囲んで、四季、一日の日の移ろいを感じられる場所 ・子どもには地面に着いた場所がいい。 ・デジタル化が進むと、借りるのに便利な場所という要件は重要で無くなってくる。 ・訪れる価値のある図書館なら特に便利な場所になくても、市民以外でもわざわざ足を運ぶはず。 ・無料の駐輪場や駐輪場があってほしい。 	
・候補地の別利用等	<ul style="list-style-type: none"> ・（現中央図書館の跡地）芸術・文化・音楽などの機能を強化する世界規模の施設 森のシンフォニーホール ・（エールエールA館）観光やアクティビティを重視した内容の図書施設 国際会議等に利用できる施設 	
・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ今回再整備の場所についても市民の意見を聞かないのか。 ・蔵書数や、面積、必須の設備や室をある程度示さないと、経費比較できないのではないか ・再整備する場所に関係なく、求められる機能やサービス等を示す市民意見募集を行う、という市の姿勢は大いに評価される。 ・3つの候補地で検討するところまで来たこと、一市民として歓迎している。 ・中央図書館とこども図書館は、わけて検討を行なってほしい。こども図書館は、対象を子どもに特化して、機能やサービス等を検討してほしい。（再掲） ・「中央図書館とは切り離して、」に反対。ぜひ、中央図書館と一体化して再整備してほしい。（再掲） 	

2 その他（76件、複数回答あり）

内容	主な意見の概要	本市の考え方
<p>・再整備の建物について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトの「平和の情報発信拠点」に似合うかつよく、市民が自慢でき、観光拠点としての役割も持てる建物にしてほしい。 ・「ああひろしまに帰ってきた」と思えるようなシンボリックな建築設計がほしい。 ・今流行りのガラス張りの建築はやめてほしい。日差しを遮る重厚なコンクリ建築がよい。 ・防犯と防災の技を尽くし、市民が「安心」かつ「安全」に利用できる建物にしてほしい。 ・図書館用に建てられた建物で、貴重な資料の保存や、多数の書籍に耐えうる、頑丈で防火に優れた施設であるべき。 ・5年10年単位で本質的なレイアウト変更も可能なフレキシブルな建築・場づくりを目指してほしい。 	<p>・再整備する建物の仕様等についてのご意見は、再整備の基本計画や設計業務等において参考にさせていただきます。</p>
<p>・再整備の検討方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけて、図書館の専門家、建築家、利用者、司書等ともっと議論を尽くしてほしい。 ・現在図書館を利用していない人は今後もよほどのことがない限り、図書館を利用しないので、今まで実際に足を運んで利用していた人たちのニーズをもっと丁寧に分析して再整備方針に具体的に書きこむべき。 ・新たな審議委員を配した審議会を作るべき。 ・図書館再整備方針を、とにかく今年度内に決めてしまおうという安易なことはやめてほしい。 ・今後の進捗が広くわかりやすく共有され、ワークショップの開催など市民と共同で丁寧に進めてほしい。 ・関心の低い層、魅力を感じていない層、若者層の意見も掘り下げていくべき。 ・中央公園の再整備は、なぜ全体像をきちんと決めてやらないのか、場当たりの計画性がない。 ・本市の人口減少社会と財政難などを考えると、中央図書館だけでなく、区図書館、市本庁・区役所、スポーツ・文化センターなど、長期財政・人員計画のもとに全ての施設の再整備を検討することが必要ではないか。 ・現在の建物の単位ではなく、一度「機能ごと」に因数分解してから、それをくっつけたり、離したり、合理化したり、再構築するプロセスを辿ってほしい。 ・都合の悪い意見を排除することなく、どんな意見がどのくらいあったのか、公表してほしい。 ・今回市民から意見を求めようとした姿勢には、市民に寄り添う姿勢を示していることが感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の再整備については、学校教育・社会教育関係者、学識経験者、市民委員等で構成された広島市立図書館協議会及び広島市社会教育委員会において意見聴取を行っており、新たに審議会を立ち上げることは考えていません。 ・また、現在、様々な市民団体によるワークショップや勉強会に職員が出向くことなどにより、多くの利用者や市民の声をお聴きしています。 ・中央公園の再整備については、令和2年3月に「中央公園の今後の活用に係る基本方針」を策定しており、現在、関係部局が連携して「中央公園内の公共施設の集約化等に係る方向性」を検討しているところです。 ・今回の市民意見募集においても、多くのご意見をいただきましたので、様々な意見を取りまとめ、再整備の検討の参考とさせていただきます。
<p>・参考としてほしい他都市の図書館等</p>	<p>石川県立図書館、岐阜市立中央図書館（ぎふメディアコスモス）、高知県立図書館・市立市民図書館（オーテピア）、日比谷図書館文化館、千代田Web図書館、世田谷区経堂図書館、ゆいの森あらかわ（東京都）、京都府立図書館、武雄市図書館・武雄市こども図書館（佐賀県）、周南市立徳山駅前図書館（山口県）、ふくやま文学館（広島県）、札幌市図書・情報館（北海道）、大和市立図書館（神奈川県）、海士町中央図書館（島根県）、梶原町立図書館（雲の上の図書館、高知県）、長岡市シティホールプラザ（アオーレ長岡、新潟県）、松本民芸館（長野県）、ヘルシンキ中央図書館（オーディ、フィンランド）、ニューヨーク公共図書館（アメリカ）等</p>	<p>・ご意見をいただいた他都市の図書館等の情報は今後の参考とさせていただきます。</p>